

平成 28 年 11 月 6 日

スクールレフリー委員各位

兵庫県ラグビースクール連盟レフリー委員長
百合野 慶太

兵庫県ラグビースクール大会のレフリー関連諸注意事項について

日頃からのレフリー委員会の活動にご協力賜わりありがとうございます。
県大会が近づいて参りました。プレーヤーが力を十分発揮できるよう、試合の円滑な進行をレフリー委員会も図って参ります。

ついては、下記注意事項についてご確認いただき、スクール内での周知・徹底よろしくお願いします。

1)大会運営について

県大会冊子に記載されている「大会実施要綱」の運営規則及び、冊子裏面の「注意事項及び指導事項」各項目のスクール内での周知徹底をお願いいたします。

2)レフリー、及びタッチジャッジの担当者について

集合時間及び当日の出欠確認について

ア) 第1日目

- ・集合時間:午前8:30 ※注意事項等の説明を行います。
- ・集合場所:三木総合防災公園陸上競技場(高学年試合会場、Aコート)
- ・出欠確認:本部テントにて実施(レフリー委員に来場を申し出てください)
- ・持参品:本用紙をプリントアウトの上、必ずご持参してください
- ・**ドレスチェック : 県大会冊子に学年毎に記載されているので、良く確認しておいて下さい。**

イ) 第2日目

- ・**第1試合担当レフリー、及びタッチジャッジは午前8:30に、**
第2試合以降は開始予定時刻の2時間前に、各本部テントにて来場を
レフリー委員に申し出てください。
- ・**ドレスチェック : 県大会冊子に学年毎に記載されているので、良く確認しておいて下さい。**

ウ) 第3日目

- ・**担当レフリー、及びアシスタントレフリーは試合開始予定時刻の2時間前に**
各本部テントにて来場をレフリー委員に申し出てください。
試合開始予定時刻の30分前に各コートの本部付近でドレスチェックとブリーフィング、及びトスを行います。(各学年の担当の割当調整は、第2日目終了後に行います。)
- また、幼稚園についてはレフリーの確認は本部で行いませんので、各スクールが責任を持って出欠確認及び、レフリーの手配をお願いいたします。

※各日程とも、担当のレフリー、及びタッチジャッジは遅れずに集合して下さい。

【レフリー、タッチジャッジの留意事項について】

ア) レフリー、タッチジャッジとも、公式試合にふさわしいスタイルをお願いします。

(襟付きジャージ、ラグビーパンツ、ストッキング、スパイク)

背番号付き、T シャツ等、ロングスパッツ、靴下、は NG です。また長袖のアンダーシャツの着用は可能ですが、華美にならないように注意して下さい(例えばピンク色等)

タッチジャッジはウインドブレーカーを着用しても構いません。

イ) 反則のジェスチャー及び、コールについては、大きな声でゆっくりと大きな動作にて行って下さい。

(自信を持って、笛を大きく吹くことが重要です)

ウ) ラック、モールのパイルアップ (危険防止のためにも早めにプレーを止めて下さい)

モール : 相手側に絡まれてボールが出ないと判断した場合早目に止める。

ラック : ラックが崩れた場合直ちに笛を吹いてプレーを止める。

崩れる直前に押し込んだ側のスクラム。判断出来ない場合攻撃側。

エ) 危険なプレー (ミニ競技規則の第 10 条 不正なプレーを良く読んでおいて下さい)

・ハイタックル、ジャージをつかんで振り回すプレー(ノーバインドのタックル)、空中にあるプレーヤーへのタックルなどは、きっちり指導を行いペナライズして下さい。

危険が予想される場合も直ちに笛を吹いて安全を確保して下さい。

オ) タックルが成立した時、特に以下の反則が起きやすいのでの良く確認をお願いします。

(プリベントコールを行い、反則を事前に防ぐようお願いします。)

1.ノットロールアウェイ (ボールキャリアーを直ちに放し、離れるよう声を掛けて下さい)

2.ノットリリース・ザ・ボール (地面に倒れたら直ちにボールを放す)

3.シーリングオフ (攻撃側のボールを覆うような倒れ込みに注意して下さい)

4.オーバーザトップ (防御側に、しっかり立ってプレーするよう注意して下さい)

5.オフザゲート (攻撃側のプレーヤーについてもゲートの確認をお願いします)

(タックルしたプレーヤーが倒れなかった場合はゲートが発生するので注意して下さい)

6.ボールキャリアーに対する、タックルをしたプレーヤーのホールディング

(タックルが成立した時、ボールキャリアーを一度離さなければなりません。)

カ) セットプレーでのオフサイドの解消について学年毎に違うので良く確認して下さい

キ) キックオフサイドの確認をお願いします。(キッカーの前のプレーヤー)

ク) トライ後のボールはレフリーが確保し、センターまで持って来て下さい。

ケ) 中、高学年について、以下の2点のルールが適用されます。兵庫県競技規則P3の

「2016年度 ルール適用確認事項」と競技規則第 19 条 1 を良く読んでおいて下さい。

① ボールが、ノックオンまたはスローフォワードによりタッチに出た場合、反則をしなかった側に、ボールがタッチラインを超えた地点でのラインアウト、または、ノックオンあるいはスローフォワードが起きた場所でのスクラムの選択肢が与えられる。

② 以下の場合、ダイレクトタッチとなり地域が得られず、キックした地点で相手側にスクラムが与えられる。

A) 防御側のチームがボールを自陣の10メートル区域内に戻した場合

B) 片足または両足が10メートルラインの内側にあるプレーヤーが、10メートルラインの外側で止まっているボールを拾い上げて直接タッチにキックした場合。

(ボールを10メートルラインの内側へ戻したことになる、地域獲得は得られない)

C) 防御側のチームがスクラムまたはラインアウトからボールを自陣の10メートル区域に持ち込んだ場合

※タッチジャッジ(第1, 2日目)の担当者について

(1) 試合時間、得点をレフリー同様に管理してください

(得点カード・鉛筆は各コートの本部にて渡します。スコア・鉛筆とも本部まで必ず返却下さい)

(2) スクラムにおける3mオフサイドの確認。(中学年⇒DF、高学年⇒OF, DF)

※レフリー・タッチジャッジへの野次は厳禁であることを、再度スクール内にて徹底して下さい。

以上